

## 「第 7 回 北海道生産性本部基本調査」 (生産性運動・会員サービス等に関する調査) 結果について

本部は、平成 26 年 2 月に「北海道生産性本部基本調査(生産性運動・会員サービス等に関する調査)」を実施した。本調査は、平成 19 年度から実施しているもので今回の調査で 7 回目となる。調査項目は今回から生産性運動および会員サービスの活用度と評価に絞り、当本部会員および役員(企業・団体、労組、学識者)の 377 名を対象として郵送によるアンケート調査方式で実施し、138 名(経営[企業・団体] 103 名、労組 27 名、学識者 8 名)の方から回答を得た(回収率は 36.6%)。

### [調査結果]

結果概要は以下のとおり

#### ■生産性運動

- ・「生産性運動の三原則(①雇用の維持・拡大、②労使の協力・協議、③成果の公正配分)」を認識している割合(「労使間の大切な原則と認識している」、「知っている」)は 77.2%と前回より 5.9 ポイント減少した。
- ・生産性運動三原則の各企業における機能発揮に関し、「雇用の維持・拡大が機能している」は 38.3%と前回より 26.2 ポイント、「労使の協力・協議が機能している」は 48.6%と前回より 28.5 ポイント、「成果の公正配分が機能している」は 30.8%と前回より 29.9 ポイント、それぞれ大幅に減少となった。
- ・今後の生産性本部の事業展開で重点を置くべきことは、「中小企業の活性化」(31.6%)、「メンタルヘルス対策」(30.9%)、「生産性運動の普及啓発」(26.5%)の順となった。
- ・当本部の事業評価について、「高く評価している」、「評価している」が 65.8%と 6.0 ポイント増加した。

#### ■会員サービス

- ・当本部の普及啓発事業への参加状況について、「本部講演会(生産性セミナー)」50.0%、「能力開発型生産性セミナー」27.0%、「本部企業見学研究会」11.9%、「生産性労使フォーラム IN 北海道」28.6%となった。
- ・当本部の情報発信について、「よく読んで(見て)いる」、「時々読んで(見て)いる」が「生産性新聞」88.4%、「会報せいさんせい」78.6%、「当本部ホームページ」48.8%となり、調査報告について、「活用している」、「時々見る」が「新入社員意識調査」79.5%、「人材育成に関する調査」77.0%、「メンタルヘルスに関する調査」75.4%となった。
- ・当本部の会員サービス全般について、「大変満足」「満足」は 57.3%と前回より 1.2 ポイント増加した。

#### 平成 25 年度のアンケート調査について

平成 25 年度のアンケート調査は「北海道生産性本部基本調査」に「人材育成に関するアンケート調査」と「メンタルヘルスの取り組みに関するアンケート調査」を統合して実施した結果、北海道生産性本部基本調査に当本部の賛助会員以外の回答も含まれるのではないかと推測される結果となったため、データ分析は上記掲載の範囲にとどめることといたしました。

次年度以降の調査については、調査方法を再度見直すと共により有効性の高い調査を実施するように努めてまいります。